

発達障害支援事業者と共同で、障害者の指導基準「ライセンス」を開発

ユニバーサル アグリカルチャー サポート
 〔Universal Agriculture Support 合同会社（神奈川県横浜市）〕

WEBサイト：ー

視察受入れ：可

報道機関受入れ：可

- 神奈川県横浜市にある「Universal Agriculture Support 合同会社（代表 金子栄治 氏）」は、県内の社会福祉法人同愛会から、知的障害をもつ利用者を7～10名／週4日、また主に発達障害支援事業を展開している「たすく株式会社」（本社：神奈川県鎌倉市）から、発達障害をもつ利用者2名／週1日を施設外就労として受け入れ、主にハウスでのミニトマト生産を行う。
- 連携するたすく株式会社が、東京都や広島県等で実施されている特別支援学校の生徒向けの「技能検定」をモデルに、2019年、金子代表の監修により、ミニトマト栽培のライセンスを作成。

取組の内容

- ◆ 約8aの自動灌水システムを導入したハウスでミニトマト、そのほかに水稻、露地野菜を栽培。また、金子代表は農業スクール講師をはじめ、複数の特例子会社で農業指導のコンサルタントを担当。
- ◆ 障害者は、ミニトマトのパッキング作業とハウス内の手入れ・掃除を実施。なお、たすく株式会社からの利用者は「収穫の目安」を利用して、収穫作業に従事。
- ◆ 2019年、金子代表が監修し、たすく株式会社が作成したミニトマト栽培のライセンスを導入。障害者毎の作業可能度を1級～5級に分類し、障害者の作業可能度に応じた指導を実施。

取組の効果

- ◆ 労働力が確保されたことにより、ハウス1棟とビニールハウスの選果場を新設し規模拡大。
- ◆ ライセンスは定期的（3ヶ月）に見直し、作業指導及び適正な賃金の基準として活用。
- ◆ ライセンスにより、障害者が現在どの作業が可能なのか「見える化」できるため、新たな受入農家とのマッチングにも活用可能。

ハウス内作業



パッキング作業



収穫の目安（色チャート）

トマトの収穫<色チャート> 今日は何の色のトマトを収穫すればいいか？確認しよう

1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14

ミニトマト栽培のライセンス（例：収穫）



実施項目	合否	評価 (○△×)	支援方法・手続き・教材等 (視覚的構造化、習生エスナリに関して行ったあらゆる)
①リーダーと目標を確認する			
1 今日の仕事はなんですか？仕事を確認する	○	2級	
2 今日のノルマはどこまでですか？ノルマを確認する			
3 今日はどこから始まりますか？場所を確認する			
②道具の準備をする			
4 軍手をはめて身支度を整える	○	5級	
5 台車とカゴ、椅子を用意する			
6 道具を持って、トマトの側に移動する			
③道具の準備をする			
7 トマトの茎の、凸部分を押し取除く	○	4級	
8 割れた傷のあるトマトを選別する			
9 トマトを丁寧にカゴに入れる			